

月刊「神戸っ子」昭和39年7月10日印刷通巻40号 昭和39年7月10日発行 毎月1回10日発行

郷土を愛する人々の雑誌

神戸っ子

7
月号



monthly magazine kobekko july 1964 no.40

prois o -



Mikimoto Pearls

世界で自慢のできる

日本の宝石は

〈ミキモトパール〉です

日本人の美しさをこれほど

ひき立てる宝石は

ないでしょう



ミキモトパール
御木本真珠店

神戸店

三宮・神戸国際会館 Tel. 22-0062

大阪店

堂島・新大ビル Tel. 361-0220

本店・東京都銀座4丁目

これは神戸を愛する人々の手帖です

あなたのくらしに楽しい夢をおくる

神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ

これは神戸っ子の心の手帖です



いづみ. 11. 11. 64.



Pearls by Tasaki

田崎真珠店

- 三宮店：新聞会館秀品店内
- ニューポート店：ニューポートホテル内
- 東京パールファーム：東京・赤坂沼池2
 - 銀座店：東京・銀座並木通
- ヒルトン店：東京・ヒルトンホテル内
 - 羽田店：羽田・東急ホテル内
 - 札幌店：札幌・ホテル三愛内

われら
神戸っ子

9

川崎^{かわさき}松衣^{しょうい}
崎^{さき}芳熊氏夫人

布引山の徳光院は、神戸にゆかりの深い川崎松衣さんには祖父にあたる川崎正蔵氏建立の寺である。この奥まつた書院で、お友達とともに写経、南画の絵筆を走らせる松衣さんは「筆を通してみんなの心が通じあえる楽しさ、心の勉強が出来るありがたさに、何もかも忘れるよさがありますよ」と静かに話された。

撮影 / 西村雅司

—— 布引山の徳光院で ——





Hino

高性能の日野

兵庫日野ディーゼル株式会社

TEL ④ 7651

コンテッサ・ルノーのご用命は
神戸日野モーターへ

TEL ④ 5771～5

われら
神戸っ子

10

福井 實信^{のぶ}

川崎車輛K・K設計課長
アマチュア天文家

福井さんはアマチュア天文家で東亜天文学会の神戸支部長、特に月面観測を担当しておられる。天体観測に興味をもち始められて、既に35年のキャリアの持主「観測に一番いいのは、午前一時頃、大気のゆらぎがない時ですね。私がほんとに興味をもっているのは火星の観測なんです」愛用の天体望遠鏡は直径25cmで海洋気象台の望遠鏡と同じ性能をもっている。

天体望遠鏡の愛称はSYRTIS・MAJOR

撮影／西村雅司



永遠の美が
あなたの装いに
気品をそえる

真珠——

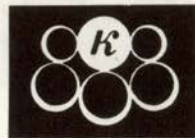
イギリス人はパールと呼び、パールを愛す
フランス人はベルルと呼び、ベルルを愛す
クレオパトラは

真珠をブドウ酒に投げ込んでアントニウスと
乾杯……

世界の女性の手に、耳に、首に、ひかえめに
輝く真珠——そのナイーブな美しさは
処女のシンボル、オリエントの永遠の美を

ささやく——

真珠のにあう女性とお話したい……



Kaneko Pearls

金子真珠株式会社

神戸市東灘区住吉町堂ノ本1824 TEL (85) 2628・9422

東京都港区芝田村町2の17大和ビル TEL (502) 0838

長崎市大黒町14の5長崎ビル2階 TEL (2) 1537



7月号目次

- ☐ 1 SECOND COVER/絵・中西 勝
- ☐ 2 グラビヤ/われら神戸っ子・撮影/西村雅司
⑨ 川崎松衣 ⑩ 福井実信
- ☐ 9 わたしの意見/土井芳子
- ☐ 10 随筆3題/野生の鼻吉・鴨居羊子
夏のうた・君本昌久
絵の中の女性・松本 宏
- ☐ 15 随筆/六甲をゆく・川野彰子
- ☐ 17 随筆/丘・清水昭美
- ☐ 21 連載随想第23回/美しい人・白川 渥
- ☐ 23 連載随想第11回/ブタの目玉・阪本 勝
- ☐ 27 神戸っ子放談/荒木 晃
- ☐ 30 経済ポケットジャーナル
- ☐ 31 オリエンタルホテル・ア・ラ・カルト
(その1)
- ☐ 32 映画のこと手当たり次第⑤/淀川長治
- ☐ 34 こんにちは船長さん NO. 2
きく人・王 奥 章
- ☐ 36 神戸で40年ぶりの豪華な現代詩人講演会
- ☐ 39 季節のモード/夏のアクセサリー・福富芳美
- ☐ 45 暮しのバラエティ NO. 5/ハンカチーフ
- ☐ 49 座談会/神戸の魅力・女の魅力
高橋昌也・加藤治子・内田 稔・新村礼子
- ☐ 55 ピンクコーナー (T)
- ☐ 59 神戸を楽しむ私のコース①/甲にしき
- ☐ 60 神戸遊戯誌11/ビリアード4・青木重雄
- ☐ 62 神戸うまいもん巡礼 NO. 23/赤尾兜子
- ☐ 64 紳士入門⑩/ステテコ紳士・竹田洋太郎
- ☐ 66 ポケットジャーナル・花時計 (森 護)
- ☐ 68 KOBEEKO SHOPPING GUIDE
- ☐ 74 連載第15回/神戸夫人・武田繁太郎
- ☐ 80 グラビヤ/神戸に詩人が集った
撮影/緒方しげを



RAMIE 麻 & 綿 COTTON

サマースタイル?

麻ポロと綿シャツ……これに限るねえ!

スポーツタイムに麻の生なりのニットポロ!

すました時にはオールコットン・ボタンズダウン
のホワイトシャツさ

簡単なことさ、これでTHAT'S ALL さ

それでいて ALL-DAY NEATNESS (毎日

キチンとした格好)

……てなことなのさ

なんといっても麻と綿

だよ

これに限るねえ

夏って時には!

E. H



RAMIE
KNIT
SHIRT



ALL COTTON WHITE

男の服飾

Kuc マック

三宮本店 神戸センター街
TEL ⑤ 0895
トアロード店 センター街西口
TEL ⑤ 0896
新聞地店 新聞地本通り
TEL ⑤ 7688
姫路店 姫路駅デパート
TEL ⑤ 1261

Fachreim's

ドイツ菓子

吟味された材料に
洗練された技術を
加えて“生”の持味
を充分に生かした
お菓子です。

ピラミッド
ビスケット
各種ケーキ
各種詰合せ

ユーハイム

本店・三宮生田神社西隣
三宮店・大丸前 市電筋
神戸そごう・神戸三越・神戸大丸
国際名菓・その他有名百貨店

＊わたしの意見

素晴らしい

お母ちゃんを育てる

土井 芳子

神戸婦人協議会々長



——先日は沖縄に建設された「のじぎくの塔」の除幕式に参列されたそうですが——

「沖縄に行くまでどうかと思っていましたよ。と言いますのは、わたしも夫を太平洋の孤島に失っているしそんな遺族にとってはためらいの気持もあるだろうと思っていました。だけど、実際に沖縄の戦跡を見て、そんな気持はいっぺんにふっ飛んでしまっ、戦争の悲惨さが胸をつきました。当時60万の島民が瞬時に30万になってしまったという物凄さ、そしていままも死に絶えてしまっているところを見たりして戦争の無惨さを身体で感じるものが出来ました。また、内地から同行した遺族たちが餅や一合の酒をひとつひとつ、おがみながら供えているのを見ると泣けました。『のじぎくの塔』は地面も広く清純な塔でほんとにいいですね。それに感銘の深かったのは沖縄の人達のことです。私が『沖縄もはやく日本に復帰しなければ』と言ったら『何を言うんですよ。私は日本人ですよ』と叱られましたね。私も感激して『しっかりやりなはれ！』と激励して来ましたが、沖縄の人達の土性骨には驚ろきました」

——神戸婦人協議会はいろいろご活躍ですが、会長さんは婦人の問題をどうごらんになりますか——

「私の意見としては、このような地域婦人会がなくなるときに本当の男女同権の姿があると思っています。」

女は、女としてのオシャレも必要ですし、女らしい女性をつくるのが私たちの最大の目的です。女性が女としての優しさを持つこと、これが男女同権のはじまりなんです。男まさりの女性、そこに男女同権があると思ってるようでは駄目です。これははき違いですよ。私は婦人は優しい母親の気持を持つ事だと思えますね。そして家庭こそ最高の心の憩いの場にするように心がけること。そうすれば、男も育つ、子供も育つ、主婦こそは家の光だと思えます。そして男女ともに互いに尊敬し、いたわりあえる場を持つことです。そこに男女同権の本当の姿があると思いますね」

□ 随筆三題 □



カット／松本 宏

野生の鼻吉

鴨居 羊子

(下着デザイナー)

私は動物とは対等につき合うことをモットーにしているので、動物を愛玩用に飼うことは反対だった。しかし永らく対等につき合っていた野良犬たちも、街から姿を消してしまっただけ、いよいよ淋しくなり、無二の家来がほしくなりだした。そこで求めた理想の犬は、秋田犬のようにデカく鈍重で、コリーのように毛が長くて鼻がでかくセパードのように力強い犬である。この三つのアイノコがいなかったと犬屋に聞いたら、犬屋は鼻でせせら笑い「我々は純血種を尊ぶ商売ですからね。純血種の良さを知らん人ほどそんなアホなことを

言う。」とケイベツされた。

しかし、人間が手を加えつくりすぎた純血種なる犬は、私としてはどうも人形のように動物の匂いがしない。それにみなハンコで押したレディメードのようにその種属種属で全く同じ顔つき体つきとされている。その点アイノコや雑種は個性的だ。頭は少々うすのろでもいい。宿題をしてもらうわけじやあるまいし。家へ帰って私の横に、少々うすのろのまぬけた奴が、にんまり笑って迎えてくれれば、私の頭の中は一べんに和やかになるだろう。ひどく神経質で頭の良すぎる犬などがコセコセと横にいたんじや、こちらが疲れてしまう。……とアレコレ言うてるうちに、ほんとに私の理想の犬が突如現われた。セパードとコリ

ーのアイノコが偶然田舎の友だちのうちに生まれた。

耳と目つきと鼻スジの中途までがコリーで、先っぽは何となく太くてセパード的。脚はドタドタと見るからに重そうなデブ脚。シツポはセパード。大器晚成のいたのもしく未知数の犬である。毛色はうすい茶で先の方は金色だ。私とじゃれていると、私の髪の毛と全く同色でまわがわれそうである。

女だけれど、鼻吉とつけた。鼻吉はみるみる大きくなってガキ大将のゴンパチのようになってきた。

私の方針としては、野ばなしの自由な状態、野性を重んじる状態そして自然に鼻吉が秩序を自分でさとり、私の良き家来となって私を守る——ように育てようと思っただ。ところが、目下は野放図すぎてどうもこうも荒っぽく、どこか野原で暮さねばおさまらぬようにケタはずれなあばれ屋である。

しかし、鼻吉とはなれていてふと思ひ出すときの彼女は、あどけなく、鼻筋の通った、ひつつめ髪 of いたいけな少女の姿だ。いまに大きな大きなライオンのような鼻吉になったとき、私がねてる横で彼女はしずかに私を撫でたり、なめたりして守ってくれるだろう。アフリカのライオン・エルザを育てたジョイ・アダムソンは「ジャ

ングルの夕暮れにつつまれてエルザを撫でていると、私はエルザを通じてずっと太古の、人間がもう忘れてしまった大自然の神秘がよみがえってくるような不思議な世界にひきずりこまれる」と言っていた。私も動物に求めるのは、人間の世界の人形ではなく、自然の神秘がほしい。私は毎度のようにこんなロマンな状態で、うっとり

子羊居鴨／カット



どころの騒ぎではない。しかし、この甘い干し草の匂いをする野生の鼻吉のバカデカイ鼻面は、都会の人間である私を、ときに邪悪な心をもつ私を、ひどく素直で素朴な気持ちにみちびいてくれる鼻面だ。

夏のうた

君本昌久

(詩) ひと

或る日、帰宅するや否や、ワイ

フが一枚の手紙の封を切ったまま差出して曰く、「あなた素敵よ、素晴らしいところから六カ月の契約を頼まれたのよ。」

ワイフがハズの手紙の封を無断で切ったのは歴史的な事柄でありユウシキカギリである。が、ユウと腹を錨にするところを、あなた素敵よ、というスコールのような言葉に、錨も吹っ飛んで仕舞った次第である。

以来、今日現在此の瞬間刻々として契約の月日を送っている。全く、新しい関係を結ぶために。春花咲き、緑に鳥鳴き、夏太陽がいつぱい。その間、アレに、アレ、アレになることは、全く素晴らしい。ボクはアレが好きだ。

先ず、4月のアレとの出来事を曝こう。

いささかまずい話であるけれどアレが家へやって来た。そして、いきなり口許へクチビルをあてがった。はじめてのことであつたためか、ワイフの唇とは異なり、まろやかで、スツキリしていて、実に爽やかであつた。が、いつしきそうやっていると次第に酔いが来た。そこで、あられもなく、だらなくブザーのように鳴きつづけて、もっともっと欲しい、欲しいといつてしまった。それから先はアレのなすがまま、12回の波に飛

沫をあげ泡に濡れていた。なんたることだノと、自戒するハートもなく睡りに入った。それから後の惨事は言わぬが花。

さて、5月のアレとの出来事を打明けよう。

ちよつとばかり忙がしくなったというのは、テレビに出演したアレを見て頂戴といってくるし、バーや、スタンドや、レストランに連れて行って欲しいといつてせがむのだ。

止むなく『沈黙』の映画に出てくるアナミたいな気持でさまざまのことにした。しかし、時は金なりのコトバを生命の塩にしている身上であつてみれば、一夜ですべてを済ますのが男というもの、そう覚悟したある日、新開地から三宮を徘徊した。

夕暮れどき、レストランKへ行く。そこでアレのことを尋ねたがここへはまだ来ていまいせんと店の主が答えた。1時間、そこでランチをつついたが、きくことはアレの哀れっぽいことばかり。スタン・ローマへ行つた。先ほどお見えになりましたが、私のことは心配なさらないでおのみにって下さい。と、アレが伝えていたとのこと。止むなくそこで2時間。再び、ドアをノックしてバー・ペペチカへ行く。アレはそこにもなか

った。すると、どうしたことか無性にアレが欲しくなるのである。

赤いソファアの上で、アレをアレをアレを、と、まるでバケツを打鳴らすようにビートしていた。

ところで、6月がきた。こんどは大阪でデートして欲しいと手紙が送られて来た。7月、8月、9月、アレとの契約が終る日まで、どうなることやら。スコットランドではCHERIO、イタリアではSALUTE! フランスではAVO TRE SANTEI、デンマークではSKÅL! というのは、アレの愛のコトバである。ボクはスコールとアレを呼びつづけている。だから、今年のボクの夏のうたは、スコール、スコール、スコール、世界がぶっ倒れるほど唄いつづけているのだ。

註★スコールとは発売二年目を迎えたサントリールビールをのむときに斉唱するデンマークのコトバで、乾杯の意。

絵の中の女性

松本 宏

(洋画家・行動美術)

女性について何か書けなんて神戸っ子も人が悪い。今にして、女っ気と言えば、中学の同級生、当時からなら足掛十五・六年は付合った女房と、将来は人の範たるべ

き教師志望の学生達とくれば何をかいわんや、といったところです。そこでよくよく熟考の末、「絵の中の女性」と少々キザではあるが逃げ手を考えた次第。しかし女と男の世の中で、男があと一種類しかない女性について語るとなれば、逃げ手とは言いながらふさける気持はさらさらなく、真実を語り、悪文ながら炎のペンを走らせているつもりでおります。

絵と一口に言いますが、現在の表現方法はすごく間口が広くって、抽象具象に、アンフォルメル、ポップアートに何々アートと、それこそ枚挙にいとまがなく、僕の絵の中の女性も、外見はこのへんをミックスした様なものではないかしら……美術の歴史をひもといてみしても、遠くは今日日本をにぎわしているヴィナスからダ・ヴィンチの「モナ・リザ」、ルーベンスの豊満な女体から、ロートレックの娼婦、ピカソのブリジット・バルドー等も読者の想像を刺戟する名画名作が、歴史の流れの中には数かぎりなくありますが、僕のはそんなのちがって、などとえらそうに言ってみても描く力もないこととて、ちがってあたりまえで、そいつはとんでもないことで、人が、人は僕の女性像について、こりゃー「おばけだ」「おかめだ」

もっとひどいになると「これ人間?」と批評は様々。僕にとって長い時間と努力をかさねた珠玉の結晶、愛の結実、描く手をしばし休めては厭きることなく眺め愛で、また筆をとっては化粧をしてやり服を着せムーチョムーチョの言葉では、とても表現出来ない程のあふれる愛のしぐさをお互いに感じる間柄(??)、僕の心の旅路をいついつまでも裏切ることなくついて来るよき伴侶、かけがえない女性達なのです。そこへいくと街の女性群とは残念なことにあまのお話の機会もなく、ご交際願った経験もなく、ましてや恋を語る味も知らない僕なんか、唯々眺めた感じだけで臆測するのは冒瀆もはなはだしいことなのでしようが、盲者蛇に怖じずのあつかましさを言わせて頂ければ、街を調歩する女性の群、群、群、実にこれ謎、謎、謎の連続で、ゆれるオッパイ、オヒップからでん虫の歌まで、それこそ「これ人間?」と問いたくなり、大いに興味あり、お友達にもして頂きたいんだけれど、それより恐ろしさの方が先になり、いそいそ我が家へ帰っては、絵の中の女性達にかこまれて、ふんわかタバコなどをくゆらせている今日この頃と、マリー

うといった次第です。



KITAMURA PEARLS

世界の人々に
愛される
キタムラパール

北村真珠株式会社

神戸/元町3 東館/スキヤクセンター
TEL3-0072 TEL(071)8032

世界中の人からほめられた

日本の誇り 神戸のほまれ

マロングラッセは ヒロタの銘菓

お中元ご贈答に一番喜ばれます
特に東京送りによく使われています

元町通三丁目 TEL③二三四〇番



O-SHIBATA



柴田音吉洋服店

神戸・元町通 4丁目 神戸 4-0693
大阪・高麗橋 2丁目 大阪 231-2106

お中元に



●市内無料配達 地方送り承ります



神戸三宮トア・ロード 本店③1番 南店③1616番